

第59回

若手研究者・院生情報交換会

テーマ

なぜ共同研究が必要か？

つながることで拓ける研究について考える

日時 2025年10月18日（土） 13：30▶17：00

会場 l-siteなんば（大阪公立大学）C1教室

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41

【プログラム】

1. 趣旨説明（13：30～13：50）

「なぜ共同研究が必要か？今日みんなで考えたいこと」

伊藤嘉余子（大阪公立大学教授）

2. パネルディスカッション（13：50～15：30）

①李瀟瑩（大阪公立大学大学院博士後期課程、学振特別研究員（DC2））

②西森啓介（大阪公立大学大学院博士後期課程、児童養護施設グインホーム）

③本田優子（大阪公立大学講師）

3. ミニワークショップ（15：45～17：00）

4. 情報交換会

（会場付近のお店で予定しています。）

【企画趣旨】

近年、学術研究において、分野横断的な視点や実践との協働が一層求められるようになっていきます。例えば、学振の特別研究員の申請書においても「身に着けたいトランスファブルスキルは？」「自分の専門領域以外の分野で研究を進めたい分野は？」といった項目があり、学際的、領域横断的な研究テーマの設定を含む研究デザイン力が求められるようになってきているといえます。自分の研究領域についても、まだ基盤が盤石ではないなかで、他領域とコラボ・・・とは考えにくいかもしれませんが、他領域の視点や研究方法等を習得することは、自身の研究の向上だけでなく、研究者としてのキャリア形成やネットワークづくりにも豊かな実りがあると思います。そこで、本企画では「なぜ共同研究が必要か」「どのように始め、継続すればよいのか」といった問いを出発点に、実際に共同研究を行っている若手研究者や、学振の特別研究員として採択された研究者、これから共同研究をしてみたい研究者等の経験談から共同研究を始めるうえでのヒントを共有したいと思います。

ご自身の研究の新たな可能性をひらく扉を開けてみませんか？ ぜひご参加下さい。

お申込み・お問い合わせ

企画担当 同志社大学 空閑浩人・廣野俊輔
大阪公立大学 伊藤嘉余子

問い合わせ先 itokayo@omu.ac.jp

主催 関西社会福祉学会・大阪公立大学教育福祉学類

共催 大阪公立大学教育福祉研究センター

申込は
こちら

